

2013年
1月



タニシ獲りで外出中の子供たち！（カンボジア孤児院）

特定非営利活動法人 礎の石孤児院理事長

北野 直人

2013年、謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年の方々による尊い御支援・サポート、本当にありがとうございました。昨年1年間はもとより、孤児院設立当初より今まで、この事業を継続できていますことは、皆さまのお力あってこそ、と痛感させられております。新年早々、憂いなことはいわないよう、ただ世界の子供たちにとって良い年となることを願いたいのですが、世界情勢に目を止めるなら、不安と言わざるをえません。また、地震や異常気象による災害も、その数は頻繁になってきています。そしてこの状況は、また新たに多くの孤児を生み出す結果となります。私たちが、国内に児童養護施設建設の必要性を覚えたのも、正にそこにあります。一人でも多くの子供を助けるために、私たちはこの働きをさらに前進させていきたいと思っております。そのためには、皆さまのお力が必要です。どうか今年も皆さまの御支援・サポート、よろしくお願い致します。末筆で恐縮ですが、今年1年の皆さまの御健勝、心よりお祈り申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ！（こんにちは！）『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を心から感謝申し上げます。10月に続き11月も祭日や臨時休校が続きましたので、いろいろ出掛ける機会を持ちました。孤児院近郊にある開発が目覚ましい区域に公園なども出来ていると聞き出掛け、その近くにある大きな池でも遊びながらタニシのようなものをたくさん獲って帰ってきました。それをスタッフに調理してもらい、皆で美味しく食べる事もできました。開発が進んでいるプノンペン市内で、思いがけず自然に親しむ機会があり感謝しています。また、毎年賑やかに行われるボートレースなどが中止となり、3日間の祭日をグループ



日本から子供服が届きました！

分けして遊園地のある公園に出かけ、楽しく過ごす事ができました。2012年も皆様からの多くのご支援とご協力を頂き、子ども達の心身共なる成長を見ることが出来ました。ほんとうに感謝致します。

2013年も皆様の上に、祝福が豊かにありますようにお祈り申し上げます。

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン孤児院へのご支援を心から感謝いたします。昨年度もダバオを始めとするフィリピン孤児院への、皆様のご経済的ご支援を心から感謝致します。一年365日があつという間に過ぎ、子どもたちが大きく成長していることに驚きます。子どもたちの身長もどんどん伸びています。先週の火曜日、私たちは大きな台風を経験しました。この台風は過去20年間で最大のものでした。礎の石孤児院の援助によって学校へ行っている子どもたちの家庭でも、作物や家畜が全面的に被害を受けました。それらの家庭では農業を通して食物を得ていますし、唯一の収入源であるので、今後の生活に大きな影響を及ぼすことが予想されます。しかし幸



お菓子を手にして喜ぶ子どもたち！

いなことに、孤児院の関係者では、誰ひとりとして怪我をした人や命を失った人はありませんでした。大変な状況ではありますが、私たちはそのことを喜び感謝しています。2012年から2013年の学費を送って頂くこともできました。皆様のご支援を心から感謝致します。皆様がたくさんのお愛と喜びと幸せを受け取られますように。さらに多くの子どもたちを助けていくためにも引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリ ボワンジ（こんにちは）皆様のご支援に心から感謝申し上げます。
 ザンビアはようやく雨が継続して降るようになり、一安心ですが、同時に肌寒い日々が続いています。雨がこれ程降らなかったのは、わたしの滞在中始めてで、主食メイズの来年の収穫が心配されています。デヴィットとカレブがしばらくルサカに滞在して帰ってきました。テリーズにとっても、久しぶりに彼らと過ごすことができたのはよかったです。ですが、デヴィットとカレブからみると、テリーズはすでにコンピューターに長け、スタジオも任されており、突然大人の世界に入ったようで、完全にお兄さんとなっていたようです。孤児院では、今まで使っていた調理用電気ストーブが完全に壊れてしまって、3食の食事、入浴用の温水の用意に炭を使っています。非常に不便かつ出費がかさみ、大変な状況で、緊急に支援を必要としています。5万円ほどで新品が購入できますので、どうか皆さんのお力添えをよろしくお願い致します。



カセンガにいた時の桜子さんと子どもたち。

ブラジル孤児院レポート

松本 弘子

皆様の尊いご支援とご協力をありがとうございます。アラサトゥーバは今、真夏ですが、雨期なので、暑くなったり、涼しくなったりを繰り返しています。先日は日本で受けた一般検診とガン検診の結果を取りに行ってくれた母からメールが来て、検診の結果は異常なしとのことで、ほっとしました。さて、市内の孤児院にクリスマスプレゼントを持っていく件ですが、子供たちの洋服のサイズ、足のサイズを孤児院の責任者の方から聞くことが出来ました。それをもとにTシャツとビーチサンダルを買いました。袋詰めまで完了したので、後は、ネームカードを少しデコレーションし、仲介役の方の家に持って行きます。毎回プレゼント作りをしながら感じることは、「受けるより与えるほうが幸いである」という聖書の言葉は真実だということです。街をいろいろ見て回ったり、デザインを考えたりして、楽しませていただきました。



プレゼント用の服とサンダル。

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を！

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。

また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。

私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

【郵便振替】

(口座番号) 00130-5-24249

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2069305

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

児童養護施設（孤児院）設立支援のため

【銀行振込口座】 みずほ銀行 五反田支店

(口座番号) 普通 2915961

(口座名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

【郵便振替口座】

(口座番号) 00120-5-417839

(加入者名) 特定非営利活動法人 礎の石孤児院

日本での孤児院設立及び支援のため

「礎の石」パートナー募集中

私たち NPO 法人「礎の石」孤児院では、毎月10千円をもって孤児たちを支えてくださる「礎の石」パートナーを募集しております。

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所、Eメールアドレスまでお送りください。

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局

〒141-0031

東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201

電話：03-5740-8814 FAX：03-5740-8817

E-mail：ishizue@athena.ocn.ne.jp

<http://www.cornerstone.or.jp/>